

3 計画の作成ステップ

1

「同意確認欄」を書く

市記入欄	
No.	
氏名	

町田市 個別避難計画

○災害対策基本法第49条の規定に基づき、この個別避難計画に記入した情報は、災害に備え、平常時から計画作成や避難支援を行う関係者と共有します。また、災害が発災し、または発生するおそれがある場合で、避難行動要支援者の生命・身体を災害から保護するために特に必要がある場合は、避難支援等の実施に必要な限度で、避難支援を行う関係者へ提供いたします。

○この計画は、町田市が作成し、町田市が管理します。また、避難支援等を行う関係者へ提供いたします。

この同意確認書に署名した日を記入します。
※計画の作成日と同じでなくても構いません。

上記の内容を理解し、個別避難計画を作成（更新）することに同意します

記入日	20XX	年	4	月	1	日
本人署名 (代理署名)	○○ ○○					
【代理署名者】						
氏名【	◇◇	◇◇	】			
本人との関係【	夫	】	連絡先【	042-XXX-XXXX	】	
住所【	町田市○○町XX-×	】				

記載事項を確認の上、署名をします。(自筆)

本人による署名が不可能な場合は、(本人の同意を確認した上で)代理人による署名が認められます。

代理署名を行った場合は、「代理署名者」欄に署名をした方の氏名、本人との関係、連絡先(電話番号等)、住所を記入してください。

Q. 記載した情報は、誰に共有されますか？

A. 作成した計画は、「災害対策基本法」に基づき、平常時から以下の人と共有する必要があります。

- 対象者本人(及びその家族)
- 安否確認をする方や、避難を手助けする方
- 一緒に計画作成を行う方
(福祉専門職等に作成を依頼する場合など)
- 町田市(作成した計画は、市に提出します)

また、実際に災害が起こった場合や、風水害など、災害が発生するおそれがある場合などは、あなたの命を守るための支援に必要な限度で、その他、避難等の支援を行う関係者などにも情報を共有します。

Q. 対象者本人が同意しない場合、計画作成はできませんか？

A. 対象者や家族が同意せずに計画を提出した場合は、市で計画書を受け取ることができませんのでお返しします。

②

「1. 基本事項」、「2. 地震の避難計画」、「3. 風水害の避難計画」を書く

「1. 基本事項」の記入例

この計画を作成した日を記入

※ **太枠** は必須記入項目です。その他は本人の状況に応じて記入してください。

計画作成日 **20XX** 年 **6** 月 **1** 日

1. 基本事項 ▶ 手引き4ページの記入例や注意事項を確認し、記入してください

フリガナ	xxx xxx	年齢	85歳	生年	西暦 19XX	年
氏名	〇〇 〇〇	性別	女	月日	4月1日	日
住所	町田市 〇〇町x-x					
心身の状況	<input type="checkbox"/> 身体障害者手帳() <input type="checkbox"/> 愛の手帳() <input checked="" type="checkbox"/> 介護認定 (要介護4) <input type="checkbox"/> 在宅人工呼吸器使用 <input type="checkbox"/> その他 ()					

1つ以上記入

連絡先	<input checked="" type="checkbox"/> 電話 042-xxxx-xxxx <input checked="" type="checkbox"/> FAX 同上 <input type="checkbox"/> メール	住居の種別	<input checked="" type="checkbox"/> 一戸建て⇒主に(1)階で生活 <input type="checkbox"/> アパート・マンション ⇒()階建ての()
-----	--	-------	---

1つ以上記入

緊急時の連絡先①は記入必須
②は必要に応じて記入

緊急時の連絡先(家族等) ①	氏名	〇〇 ◆◆	連絡先	<input checked="" type="checkbox"/> 電話 042-xxxx-xxxx <input type="checkbox"/> FAX <input type="checkbox"/> メール
	本人との関係	<input type="checkbox"/> 子 <input checked="" type="checkbox"/> 夫 <input type="checkbox"/> 妻 <input type="checkbox"/> 父 <input type="checkbox"/> 母 <input type="checkbox"/> その他()		
	住所	<input checked="" type="checkbox"/> 同居 ※別居の場合のみ記入 <input type="checkbox"/> 別居 ⇒		

緊急時の連絡先(家族等) ②	フリガナ	xxx xxx	連絡先	<input checked="" type="checkbox"/> 電話 090-xxxx-xxxx <input type="checkbox"/> FAX <input type="checkbox"/> メール
	氏名	〇〇 △△		
	本人との関係	<input checked="" type="checkbox"/> 子 <input type="checkbox"/> 夫 <input type="checkbox"/> 妻 <input type="checkbox"/> 父 <input type="checkbox"/> 母 <input type="checkbox"/> その他()		
	住所	<input type="checkbox"/> 同居 ※別居の場合のみ記入 <input checked="" type="checkbox"/> 別居 ⇒ 東京都〇〇区〇〇町 X-X-X		

担当のケアマネジャー・相談支援専門員等	事業所名	介護支援サービス〇〇			
	フリガナ	xxx xxx	連絡先	<input checked="" type="checkbox"/> 電話 042-xxxx-xxxx <input type="checkbox"/> FAX <input type="checkbox"/> メール	
	担当者名	□□ □□			
		<input checked="" type="checkbox"/> ケアマネジャー <input type="checkbox"/> 相談支援専門員 <input type="checkbox"/> その他()			

配慮が必要なこと	<input checked="" type="checkbox"/> 会話や文字の理解(支援方法: 耳が聞こえにくいため、声掛けは正面から行う。) <input checked="" type="checkbox"/> 移動(支援方法・使用用具等: 車いすかストレッチャーを使用する。) <input checked="" type="checkbox"/> 認知症の症状がみられる(具体的な配慮: 危険の判断が難しく、避難の判断は周囲の人と行う。) その他、本人の状況やそれに伴う配慮事項、服薬やアレルギー等の注意点など ※書ききれない場合等、必要に応じて別紙を添付 <p style="color: red;">・毎食後と寝る前に薬を服用している。</p>
----------	--

書ききれない場合は別紙(任意の用紙)を添付してください。

この計画と一緒に、おくすり手帳やヘルプカードなど、必要な支援が分かるものを保管しておきましょう

Q. 緊急連絡先・支援者欄への記載は支援者の同意が必要ですか？

- A. 緊急連絡先や支援者欄に個人情報を入力する際は、必ず相手の同意を得てから記入してください。

Q. 作成した計画はどのように使われますか？

- A. 作成した計画は、市に提出後、副本としてまとめます。副本は、本人と支援者が持ち、災害に備えます。

Q. 作成する時はどのような状況を想定するのがいいですか？

- A. 災害はいつ発生するか予測できません。全ての状況を想定することは難しいため、自宅で普段過ごしている状況を想定して計画を作成してください。

Q. 個別避難計画に添付しておきたい資料がある場合はどうすればよいか？

- A. 任意の様式で、別添資料を添付することは可能です。

計画を作成する中で、新たな気づきがあるかもしれません。
対象者本人や家族を中心に、専門職や地域の支援者が一緒に内容を確認しながら作成を進めるようにしましょう。



「2. 地震の避難計画」の記入例

2. 地震の避難計画 ▶手引き6ページを確認しながら作成してください

- (1)地震の安否確認者 緊急時の連絡先①と同じ 緊急時の連絡先②と同じ ⇒安否確認者の情報は記入不要

フリガナ	
氏名	
本人との関係	<input type="checkbox"/> 地域の支援者(近隣住民) <input type="checkbox"/> 福祉・医療等の専門職
住所	

緊急時の連絡先①(②)と安否確認者が異なる場合は、安否確認者の氏名・連絡先・本人との関係・住所の記入が必要です。

- (2)地震の安否確認方法 直接見に行く 災害用伝言ダイヤル 災害用伝言板
 その他 ()

- (3)地震の避難先 自宅(在宅避難) ⇒ (4) 地震の避難支援者へ
 自宅外 ⇒ 市が開設する避難施設の場合は避難先名称のみ記入

避難先名称	〇〇中学校
避難先住所	

市が開設する避難施設の場合は、「避難先住所」は記入不要

- (4)地震の避難支援者 緊急時の連絡先①と同じ
 緊急時の連絡先②と同じ
 地震の安否確認者と同じ

フリガナ	XXXX XXXX	連絡先	<input checked="" type="checkbox"/> 電話 <input type="checkbox"/> FAX <input type="checkbox"/> メール
氏名	◆◆◆◆	(042-XXXX-XXXX)
本人との関係	<input type="checkbox"/> 地域の支援者(近隣住民等) <input checked="" type="checkbox"/> 福祉・医療等の専門職 ()	<input type="checkbox"/> 同居していない家族・親族	<input type="checkbox"/> 友人・知人
住所	町田市〇〇町△-△-△		

- (5)地震の避難時の移動方法

移動手段	<input checked="" type="checkbox"/> 徒歩 <input type="checkbox"/> その他 ()
地震の避難での留意点	車いすで移動するが、路面状況によっては背負って移動が必要なため、あらかじめ近隣住民に協力を呼びかけておく。

3. 風水害の避難計画 ▶手引き8ページを確認しながら作成してください

- (1)風水害の避難先 自宅(在宅避難) ⇒ (2)風水害の避難支援者へ
 自宅外 ⇒ 市が開設する避難施設の場合は避難先名称のみ記入

避難先名称	
避難先住所	

- (2)風水害の避難支援者 緊急時の連絡先①と同じ
 緊急時の連絡先②と同じ
 地震の安否確認者と同じ
 地震の避難支援者と同じ ⇒避難支援者の情報は記入不要

フリガナ		連絡先	<input type="checkbox"/> 電話 <input type="checkbox"/> FAX <input type="checkbox"/> メール
氏名		()
本人との関係	<input type="checkbox"/> 地域の支援者(近隣住民等) <input type="checkbox"/> 福祉・医療等の専門職 ()	<input type="checkbox"/> 同居していない家族・親族	<input type="checkbox"/> 友人・知人
住所			

大地震発生後の状況を想定して検討し、記入します。

- (3)風水害の避難時の移動方法

移動手段	<input type="checkbox"/> 徒歩 <input type="checkbox"/> 電車 <input type="checkbox"/> バス <input type="checkbox"/> その他 ()
風水害の避難での留意点	

Q.「地震の安否確認者」は誰が該当しますか？

A. 例えば、同居家族(同居人)、同居していない家族や親族、地域の支援者、友人・知人などが該当します。

Q.「安否確認方法」はどのような方法がありますか？

A. 例えば、下記のような方法があります。

- ・同居、または近隣に住んでいる場合は直接見に行く
- ・大地震の後は電話がつながりにくいため、災害用伝言ダイヤルや災害用伝言板を利用して安否を知らせる

災害用伝言ダイヤルとは…

- ・「171」に電話をかけ、伝言を録音するには「1」を、伝言を聞くには「2」をダイヤルします。その後、電話番号を市外局番からダイヤルすると伝言を録音(または再生)できます

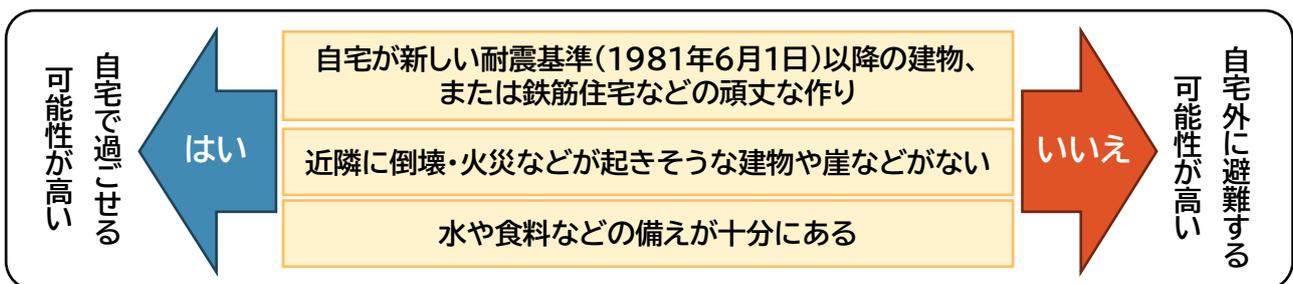
災害用伝言板とは…

- ・携帯電話各社が行う、災害用のサービスです。使い方は共通で、被災した地域の人がインターネットを経由して災害用伝言板にアクセスして安否情報を登録できます。安否を確認したい人は相手の電話番号を入力すると、伝言を確認し、追加の伝言を登録することが可能です。

Q.どのような状況であれば「在宅避難」ができますか？

A. 災害が起きた後、自宅が安全であれば自宅で生活(在宅避難)ができる可能性があります。下記を参考に、自宅の安全性を確認しましょう。

※計画書で「自宅(在宅避難)」と記入した場合でも、災害が起こった際に危険を感じる状況(自宅が倒壊する危険がある場合・生活できない程度に被災した場合など)になったら、自宅外に避難してください。



Q.「地震の避難先」はどのような場所がありますか？

A. 災害時に避難することを事前に調整できる避難先(親戚・知人宅や町内会館等)があるか確認しましょう。調整できる場所がある場合は、その場所が避難先となります。調整できない場合、市が開設する避難施設が避難先となります。

- 避難先が調整できる…計画書の「(3)地震の避難先」に記入
- 避難先が調整できない…市が開設する避難施設を確認し、計画書の「(3)地震の避難先」に記入

※市が開設する避難施設の確認方法については、P24 参照

「3. 風水害の避難計画」の記入例

2. 地震の避難計画 ▶手引き6ページを確認しながら作成してください

- (1)地震の安否確認者 緊急時の連絡先①と同じ 緊急時の連絡先②と同じ ⇒安否確認者の情報は記入不要

フリガナ 氏名		連絡先	<input type="checkbox"/> 電話 <input type="checkbox"/> FAX <input type="checkbox"/> メール ()
本人との関係	<input type="checkbox"/> 地域の支援者(近隣住民等) <input type="checkbox"/> 福祉・医療等の専門職 ()	<input type="checkbox"/> 同居していない家族・親族 <input type="checkbox"/> その他()	<input type="checkbox"/> 友人・知人 <input type="checkbox"/> その他()
住所			

- (2)地震の安否確認方法 直接見に行く 災害用伝言ダイヤル 災害用伝言板
 その他 ()

- (3)地震の避難先 自宅(在宅避難) ⇒ (4) 地震の避難支援者へ
 自宅外 ⇒ 市が開設する避難施設の場合は避難先名称のみ記入

避難先名称	
避難先住所	

- (4)地震の避難支援者 緊急時の連絡先①と同じ 緊急時の連絡先②と同じ 地震の安否確認者と同じ ⇒避難支援者の情報は記入不要

フリガナ 氏名		連絡先	<input type="checkbox"/> 電話 <input type="checkbox"/> FAX <input type="checkbox"/> メール ()
本人との関係	<input type="checkbox"/> 地域の支援者(近隣住民等) <input type="checkbox"/> 福祉・医療等の専門職 ()	<input type="checkbox"/> 同居していない家族・親族 <input type="checkbox"/> その他()	<input type="checkbox"/> 友人・知人 <input type="checkbox"/> その他()
住所			

- (5)地震の避難時の移動方法

移動手段	<input type="checkbox"/> 徒歩 <input type="checkbox"/> その他 ()
地震の避難での留意点	

3. 風水害の避難計画 ▶手引き8ページを確認しながら作成してください

- (1)風水害の避難先 自宅(在宅避難) ⇒ (2)風水害の避難支援者へ
 自宅外 ⇒ 市が開設する避難施設の場合

避難先名称	息子(〇〇 △△)の家
避難先住所	東京都〇〇区〇〇町 X-X-X

市が開設する避難施設以外に避難する場合、「避難先住所」も記入が必要です。

- (2)風水害の避難支援者 緊急時の連絡先①と同じ 緊急時の連絡先②と同じ 地震の安否確認者と同じ 地震の避難支援者と同じ ⇒避難支援者の情報は記入不要

フリガナ 氏名	XXX XXX 〇〇 ▲▲	連絡先	<input checked="" type="checkbox"/> 電話 <input type="checkbox"/> FAX <input type="checkbox"/> メール (090-XXXXX-XXXX)
本人との関係	<input type="checkbox"/> 地域の支援者(近隣住民等) <input type="checkbox"/> 福祉・医療等の専門職 ()	<input checked="" type="checkbox"/> 同居していない家族・親族 <input type="checkbox"/> その他()	<input type="checkbox"/> 友人・知人 <input type="checkbox"/> その他()
住所	東京都〇〇区〇〇町 X-X-X		

- (3)風水害の避難時の移動方法

移動手段	<input type="checkbox"/> 徒歩 <input type="checkbox"/> 電車 <input type="checkbox"/> バス <input checked="" type="checkbox"/> 自家用車 <input type="checkbox"/> タクシー <input type="checkbox"/> その他 ()
風水害の避難での留意点	車の乗り降りが大変なので、雨風が強まる前の避難を心がける。 息子の妻が自家用車で迎えに行き、夫と一緒に避難する。

雨風が強まる状況を想定して検討し、記入します。

Q. 災害時に想定される被害はどのくらいですか？

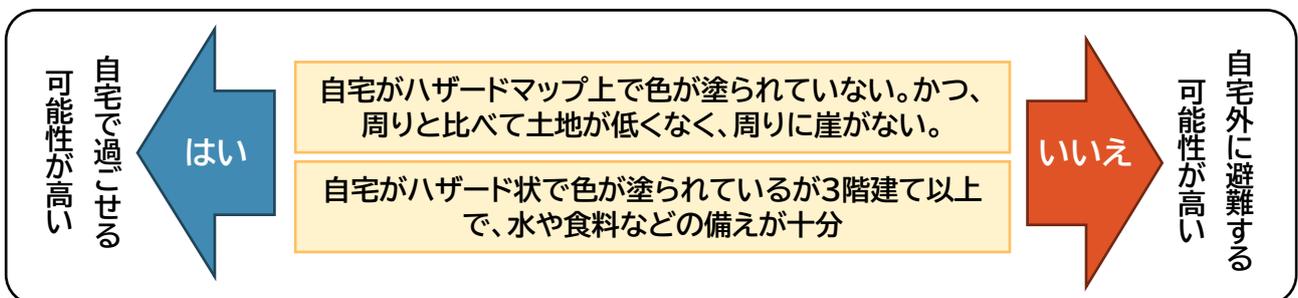
A. 「町田市洪水・土砂災害ハザードマップ」を確認ください。自宅周辺がハザードマップ上で色が塗られているか等、自宅周辺のハザードの状況を確認しましょう。

※町田市洪水・土砂災害ハザードマップについては、P22 参照

Q. どのような状況であれば「在宅避難」ができますか？

A. 災害が起きた後、自宅が安全であれば自宅で生活(在宅避難)ができる可能性があります。下記を参考に、自宅の安全性を確認しましょう。

※計画書で「自宅(在宅避難)」と記入した場合でも、災害が起こった際に危険を感じる状況(自宅が倒壊する危険がある場合・生活できない程度に被災した場合など)になったら、自宅外に避難してください。



Q. 「風水害の避難先」はどのような場所がありますか？

A. 災害時に避難することを事前に調整できる避難先(親戚・知人宅や町内会館等)があるか確認しましょう。調整できる場所がある場合は、その場所が避難先となります。調整できない場合、市が開設する避難施設が避難先となります。

- 避難先が調整できる…計画書の「(1)風水害の避難先」に記入
- 避難先が調整できない…市が開設する避難施設を確認し、計画書の「(1)風水害の避難先」に記入

※市が開設する避難施設の確認方法については、P24 参照

風水害は事前にある程度予測ができるため、公共交通機関が動いているうちに遠方の知人宅などに避難することも可能です。気象情報をこまめに確認し、避難先が遠方の場合は、早めの避難を心がけるよう促しましょう。

